資料１

史跡伊賀国庁跡保存整備事業全体整備計画（令和８年度）

Ⅰ．文化財の概要

（１）補助事業に係る文化財の概要

イ．名称等

・名　　称　伊賀国庁跡
・所　在　地　三重県伊賀市坂之下 710 番地ほか・30,586.17 ㎡
・指定年月日　平成 21 年 7 月 23 日

ロ．過去における事業の内容とその実施年度

・保存管理計画策定事業（国補助事業）
　平成 22 年度から平成 23 年度
・史跡等買上げ事業（国補助事業）
　平成 22 年度から平成 27 年度
・保存整備活用基本計画策定事業（市単費事業）
　平成 26 年度から平成 27 年度
・史跡伊賀国庁跡保存整備事業基本設計策定事業（国補助事業）
　平成 30 年度
・史跡伊賀国庁跡保存整備事業実施設計策定事業（国補助事業）
　令和元年度
・史跡伊賀国庁跡保存整備工事事業（国補助事業）
　令和２年度～令和７年度

ハ．現在の状況

伊賀国庁跡は伊賀市北部、柘植川右岸の段丘上に立地する遺跡で、伊賀市坂之下字国町および字前田の東西 200m、南北 150m の範囲に掘立柱建物、溝、掘立柱列等の遺構が整然と配列された状況で検出されている。特に、国町地内では政庁の中心建物である正殿を中心に、その前後に前殿、後殿、左右に各 1 棟の脇殿が配された遺構のあり方が明らかにされている。また、中心建物群を取り囲む 40m 強四方の政庁域の区画も検出されており、政庁の遺構は 8 世紀末から 11 世紀前半にかけて 4 度の大きな画期が見られる。これらの地下遺構は、調査後、遺構面を保護した上で埋め戻され、大半がほ場整備事業が実施され水田となった。

平成 21 年 7 月、国史跡の指定後、保存管理計画策定事業（平成 22 年度から平成 23 年度）、保存整備活用基本計画策定事業（平成 26 年度から平成 27 年度）を策定した。その間の平成 22 年度から 27 年度にかけて指定地内の 25,002 ㎡の公有化をおこなった。また、令和２・４年度には史跡北西部 1770.01 ㎡の公有化を実施している。公有地については草刈りやくれ返し等を実施して史跡の環境維持に努めている。また、地元の自治協議会の協力を得て史跡とその周辺の遺跡も含め、文化財への理解を深めるウォークや講演会等を実施している。

平成 30 年度、史跡伊賀国庁跡保存整備事業の基本設計を策定し、次いで令和元年度実施設計を策定した。令和２年度から実施設計をもとに本体工事に着手し、令和３～４年度の整備工事を実施した。令和５年度は正殿の擬木丸太を設置した。令和６年度は正殿、前殿、脇殿、南門、区画塀の擬木丸太設置と名称サインを設置した。

令和７年度は正殿・前殿・東西脇殿の舗装、西側区画塀の地先境界縁石設置、区画塀に沿う範囲の張芝、南側エントランスの砕石舗装等を実施した。

令和８年度は、南門や区画溝の舗装、南・東側区画塀の地先境界縁石設置、案内サイン設置等を実施する。

（２）既往の発掘調査・事業の概要について

平成３年度から平成６年度にかけて、坂之下字国町、字前田地内と外山字追越地内において三重県埋蔵文化財センターによる発掘調査が行なわれた。調査の結果、国町地内で政庁域が確認され、前田地内にも国庁存続期の遺構が検出された。しかし、外山字追越地内は平安期の遺構は見られず、外山地内へは国庁存続期と同時期の遺構は広がっていないと考えられている。また、平成６年度には上野市教育委員会（当時）により、国町地内の市道部分の発掘調査と前田地内における範囲確認調査が実施されている。

【文献】『伊賀国府跡（第４次）発掘調査報告』三重県埋蔵文化財センター1992
「伊賀国府跡（第６次）調査」『研究紀要第 13 号』三重県埋蔵文化財センター2003
『伊賀国府跡発掘調査』上野市教育委員会 1995

指定後の事業経過

年度	事業内容	公有化面積（㎡）
平成 21 年度	国史跡指定	—
平成 22 年度	保存管理計画策定事業 公有化事業	 3,817（2 筆）
平成 23 年度	保存管理計画策定事業 公有化事業	 3,768（2 筆）
平成 24 年度	公有化事業	4,522（3 筆）
平成 25 年度	公有化事業	2,782（2 筆）
平成 26 年度	保存整備活用基本計画策定事業 公有化事業	 6,033（3 筆）
平成 27 年度	保存整備活用基本計画策定事業 公有化事業	 4,080（3 筆）
平成 28 年度	—	—
平成 29 年度	—	—
平成 30 年度	史跡伊賀国庁跡保存整備事業基本設計策定事業	—
平成 31(令和元)年度	史跡伊賀国庁跡保存整備事業実施設計策定事業	—
令和２年度	史跡伊賀国庁跡保存整備事業本体工事 公有地化事業	— 1,578 ㎡（2 筆）
令和３年度	史跡伊賀国庁跡保存整備事業本体工事	—
令和４年度	史跡伊賀国庁跡保存整備事業本体工事 公有化事業	— 192.01 ㎡（2 筆）
令和５年度	史跡伊賀国庁跡保存整備事業本体工事	—

令和６年度	史跡伊賀国庁跡保存整備事業本体工事	―
令和７年度	史跡伊賀国庁跡保存整備事業本体工事	―
	合計	26,772.01（19 筆）

Ⅱ.補助事業の内容

平成 26 年度から 27 年度にかけて策定した『史跡伊賀国庁跡保存整備活用基本計画』の方針に従って指導委員会を開催し、指導・助言を受けながら平成 30 年度に『基本設計』、令和元年度に『実施設計』を策定し、令和２年度から８年間で政庁域を中心とした遺構表示ゾーンの整備とエントランスゾーンの一部（7,702 ㎡）を整備する。

（年度ごとの整備内容及び事業経費）

	年次	事業内容	経費(千円)
第１期	平成 30	基本設計・検討委員会	7,200
	令和元	実施設計・検討委員会	6,791
	設計事業費実績小計（A）		**13,991**
	令和２	敷地造成、雨水排水設備、指導委員会	10,000
	令和３	雨水排水設備一部、園路広場設備、修景施設整備、給水設備、指導委員会	10,122
	令和４	植栽工、園路広場設備、修景施設整備の一部、給水設備（市負担）、指導委員会	10,000
	令和５	修景施設整備工【柵工】（正殿擬木丸太設置工） 指導委員会	5,402
	令和６	修景施設整備工【柵工】（正殿・前殿・脇殿・南門）	15,912
	令和７	修景施設整備工【柵工】（区画塀擬木丸太設置工） 園路広場整備工【舗装工】（正殿・前殿・東西脇殿） 園路広場整備工【園路縁石工】（地先境界縁石） 園路広場整備工【園路縁石工】（芝生見切材） 園路広場整備工【石材系舗装工】（砕石舗装） 植栽工【張芝】（張芝 100%･張芝 50%の一部） 指導委員会	26,220
	令和２～７年度整備事業費実績小計（B）		**77,656**
	年次	事業内容	経費(千円)
	令和８	園路広場整備工【舗装工】（南門・区画溝・緑化ブロック舗装） 修景施設整備工【境界工】（区画溝） 園路広場整備工【園路縁石工】（地先境界縁石） 園路広場整備工【園路縁石工】（芝生見切材） 植栽工【張芝】（張芝 100%･張芝 50%の一部） サービス施設整備工【サイン施設工】（全体案内サイン・広域	14,160

		サイン） 指導委員会	
	令和９	植栽工【張芝】（張芝 100%･張芝 50%の一部） サービス施設整備工【サイン施設工】（地形案内サイン） サービス施設整備工【ベンチ】 園路広場整備工【石材系舗装工】（砕石舗装） 敷地造成工【残土処理】 報告書作成 指導委員会	29,000
	令和８～９年度事業費小計（C）		**43,160**
	事業費計（A+B+C）		**134,807**